

CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

発行日：毎月 10 日・20 日・月末
創刊日：1999 年 12 月 8 日
編集 / 発行：橋本 啓介

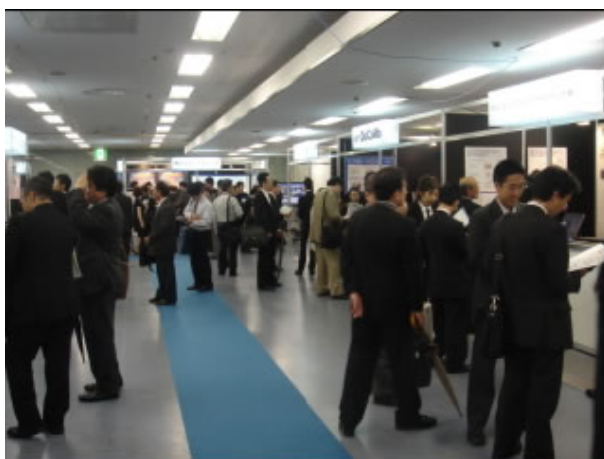
テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

2006 年展示会レポート

編集:editor@cnar.jp 広告:pr@cnar.jp 読者登録:<http://cnar.jp>

Copyright 2006 CNA Report Japan. All rights reserved.

展示会レポート



ビジュアルコミュニケーション 2006
IP テレフォニー & ケータインソリューション 2006
2006 年 5 月 18 日 (木) ~ 19 日 (金)
サンシャインシティ 文化会館 (東京・池袋)
主催：日経 BP 社

<http://expo.nikkeibp.co.jp/iptel/vc/index.shtml>

日経 BP 社主催のビジュアルコミュニケーション 2006 と IP テレフォニー & ケータインソリューション 2006 が開催され、両日で、両展示会をあわせ 13,290 名の来場があった。

テレビ会議、ウェブ会議、音声会議系が中心のビジュアルコミュニケーション 2006 は、過去最大の 31 社が出展した。IP テレフォニー & ケータインソリューション 2006 は、39 社で合計 70 社 (一部重複あり) が出展。

ビジュアルコミュニケーションを中心に取材したが、主要なテレビ会議メーカーが出展しつつ、その中でもとりわけウェブ会議系のブースが多かった。その他では、音声会議端末、エコーキャンセラー、コンテンツ配信、テレビ会議向けの関連装置など。

今回 30 社以上周ったブースの中でいくつかピックアップして簡単ではあるがレポートする。すべてのブースを周り詳細にお話することができればよかったが、これは今後の定期レ

ポートで順次取材、レポートできればと思っている。

(以下基本的に取材順)

ユニアデックス

中国の AVCON 社のウェブ会議システム。上海とリアルタイムに接続し映像と音声の品質をデモ。狭帯域の回線でも使え、数客拠点のセッションに対応するという。同社説明員によると中国ではウェブ会議市場ではリーダーだという。



AVCON による上海との接続

パナソニックソリューションテクノロジー

ウェブ会議システム「リアルタイムコラボレーション」や電話会議端末「KX-TS730JPS」などが展示。ホワイトボードやプラズマディスプレイと組み合わせたウェブ会議など。

蝶理情報システム

Web コラボレーションシステム開発コンポーネント「IC³ (アイシーキューブ)、オプション製品「IC³ extension for Helpdesk」などの紹介とデモ。

インターワイズ

ウェブ会議システムの「ECP Connect」の最新バージョン「ECP Connect V7」を紹介。日本語版は8月に出荷予定。新しいバージョンでは、自分専用の会議室や音声品質の強化を行っている。

TANDBERG

同社のビデオ会議端末、コンテンツサーバー、MCU など主要製品の展示。その中で今年2月に発売になった「TANDBERG Compass」も展示されていた。TANDBERG Compass は、コーデックに TANDBERG1000 を使っている。公衆向けでキオスクなどでの活用を見込む。壁掛けタイプ。



クレオ/NEC 通信システム

ウェブ会議システム最新バージョン「FACE Conference ORIGINAL」の紹介。インターフェイスの一新など機能強化を行った。210社以上の導入実績があるという。

NEC

ウェブ会議システム「コミュニケーションドア」の展示及びデモ。NEC 独自の VoIP 技術を活用し、音の途切れや遅延を抑制する仕組みがある。小中規模向けのパッケージタイプや大規模向けのソリューションも提供している。



ソニーマーケティング

ソニーの PCS シリーズビデオ会議システムを展示。また、参考出品として、HD 対応 (ハイデフィニション) のビデオ会議システムを紹介。4Mbps での映像とステレオ音声をデモ。価格、発売時期は未定とのこと。



ソニーHD対応ビデオ会議システム (参考出品)

NTT アイティ

2001年から販売してきた同社のウェブ会議ソリューション「MeetingPlaza」のバージョン 3.5 の展示。中堅から大企業のグループ利用まで、国内 800社を越える企業に利用されているという。今回のバージョンは、7名同時発言やプレゼンテーション機能での最大参加人数を 16人から 32人までサポートした。

松田通商

米 ClearOne 社の高性能パーソナルスピーカーフォン「Chat50」や音声会議システムを展示。Chat50 は、ポータブルタイプのスピーカーフォン。VoIP の IP 電話、携帯電話、MP3 プレーヤーなどでハンズフリーとして使える。



ClearOne の音声会議システム 右側が Chat50

ウェブエックス・コミュニケーションズ・ジャパン

米のウェブ会議サービスの大手の日本法人。世界シェアは、フロスト&サリバン 2005 年調べによると 64%あるという。世界 70 カ国 22,650 社以上の企業が同社のサービスを利用。2005 年度は、25 億ミーティング分サービスを提供した。



同社は、専用のグローバルネットワーク Mediatone Network を持つ。

トーマンサイバービジネス / 沖電気ネットワークインテグレーション

沖電気 IP テレフォニーサーバ「IP CONVERGENCE Server SS9100」と、トーマンサイバービジネスビデオ会議システム「Visual Nexus」を融合させたソリューションのデモなど。IP 電話と、ビデオ会議、ウェブ会議を同一の IP ネットワーク環境下で相互接続が可能。



ポリコムジャパン

ポリコムのビデオ会議端末、多地点接続装置などの展示。



Polycom Mobile Responder (左) と RediConvene シリーズ

また、Skype 用のスピーカーフォン「Polycom Communicator」も紹介していた。日本では未発売だが、手のひらに乗るサイズで 22Khz の音声までサポート。Skype Certified の製

品。

ENWA

SIP 対応の端末型新商品「ViewTerminal」を展示。高画質タイプで、テレビ電話とPCファイルの資料共有が行える。それ以外には多機能でライブ配信やVOD受信などが行える。

東通産業



ソニービデオ会議端末向けの、ワンタッチで相手先に接続する「ワンタッチャブル(写真左)」やビデオ会議などで議事録として使えるレコーダーなどを展示。ワンタッチャブルは、ソニーのPCSシリーズ機に対応しており、相手先最大5箇所まで登録、RS232C、

ACアダプタ付き。片手にのるサイズ。

ブイキューブ

ウェブ会議「nice to meet you」の新しいバージョンがリリース予定。同社ブースでは、その新しいバージョンのデモは行われていなかったが、現在利用者向けにベータ版を公開しているという。

KDDI ネットワーク&ソリューションズ

企業向け映像コミュニケーションサービス「Eye-See-Tel」の紹介。PCソフトウェアタイプで、テレビ会議、チャット、アプリケーション共有、ホワイトボード、ファイル転送、録画などの機能あり。在宅勤務や企業の営業所や支店などでの活用事例を紹介。

日立ハイブリットネットワーク

IPビジュアルコミュニケーションシステム「NetCS series」。高

品質の音声と映像、そして最大9地点の映像を同時に表示。データ共有、テキストチャット、予約や参加はウェブブラウザで簡単にできる。FOMA 接続オプション、フレッツフォン対応機器オプション、日立製作所が開発したグループウェア「Groupmax Version 7」とNetCSとの連携。また、参考出展で、NetCS series用のセキュリティPC対応「NetCS ビジュアルクライアント」も展示。

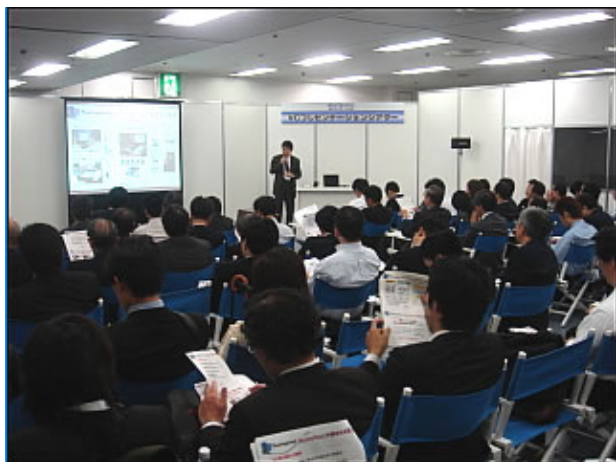


その他の出展社

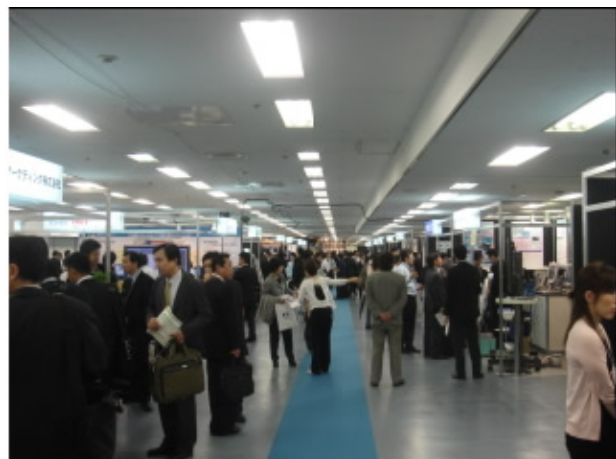
その他では、音声会議端末「プロジェクトフォン」のヤマハエレクトロニクスマーケティング、「FreshVoice テレ会議」のエイネット、現在2000社以上が利用するテレビ会議サービスを提供するNTTビズリンク、紙資料などが共有できるプロジェクター型TV会議システム「CollaboMate iP」の日本アビオニクス、最大1000拠点まで対応するウェブ会議「LiveOn」のジャパンメディアシステム、FOMAのテレビ電話サービス「ビジュアルネット」のNTTドコモ、Projectware「EZbase」ウェブ会議システムを提供するコンピューターサイエンス、ウェブ会議や電話会議などのソリューションを提供する丸紅テレコム、CodianのMCUなどのメディアプラス、テレビ会議端末のない拠点へ映像配信するソリューションのメディアサイト、新製品のエコークャンセラー「Real Talk」の展示を行ったNTTアドバンステクノロ

ジなどが出展。

IPテレフォニー展示で出展のネットワークシステムズは、ラドビジョンのMCUやClick To Meetなどの展示、住友商事マシネックスでは、NECエンジニアリングが5月に発売したエコーキャンセラー「VoicePoint EX」など、マイクロソフトは、LCSなどのユニファイドコミュニケーション、NTT 東日本では、フレックスフォンVP1500など、シスコシステムズは、シスコユニファイドコミュニケーション。



ビジュアルコミュニケーション 2006 セミナー会場



ビジュアルコミュニケーション 2006 展示会場

【編集長橋本のコメント】

コミュニケーションの統合が今後の会議システム業界でのひとつの大きな流れになっていくと思われるが、ますます会議システム自体が、コミュニケーション全体のうちのひとつの

コンポーネント化していく状況を見せている。そういった展示が今回の展示会でも見られた。

この流れは、2000年に北米で開催された会議システムの専門展示会 TeleCon での業界のキーマンによるパネルディスでいみじくも予想されていた。編集長橋本もそのパネルディスを聴講したが、テレビ会議システムは単体のアプリケーションから近い将来、コミュニケーション統合の中のひとつのコンポーネントとなっていこうだろう。

それがブロードバンド、技術の日進月歩によりようやく現実の動きとなってきた。

今後コミュニケーションの統合をうたったソリューションが各社から出てくるのではないかと思う。つまり、異通信プロトコル間の相互接続やプレゼンスの連携、業務系アプリケーションとの連携など。そしてそこでキーになってくるのが SIP。

また、現在、多数出て来ているウェブ会議は、今のところ単独のウェブ会議アプリケーションという感じが多く見受けられるが、今後はコミュニケーションの統合という文脈の中でのコンポーネントとしてのウェブ会議という方向へ動いていくのではないかと予想する。すでに専用のテレビ会議端末ではそのような方向で動いている。

会議システム業界では、コミュニケーションの統合に新たな市場機会を見いだそうとしている。

取材・編集・執筆

編集長 橋本啓介